

はじめに

大川市は、九州一の大川である筑後川とともに、これまで水と緑の豊かなインテリア産業のまちとして、歴史・文化を育みながら発展してまいりました。

高度経済成長を経て、人口減少、少子高齢化の進行、社会経済状況の大きな変化、地球規模の環境問題や住民ニーズの多様化など、社会全体のさまざまな変化に対応するため、時代の流れを的確に捉えた新しい将来都市像を描き、その目標に向かって計画的に都市づくりを進めていく必要があります。



現在、広域幹線道路である有明海沿岸道路や市内の環状道路の1つである都市計画道路堤上野線などが建設中であり、市民の利便性の向上とともに、地域経済の活性化に繋がっていくものと思われます。

「大川市都市計画マスタープラン」は、多くの皆様と協働で作りあげたものであり、20年先を見据えた都市計画の基本方針となるもので、全体構想及び地域別構想として各々の方針と将来像を掲げています。

今後、「大川市都市計画マスタープラン」に基づき、都市基盤整備を推進するなど、市民・事業者・行政の協働による都市づくりを進めていきたいと思っておりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、「大川市都市計画マスタープラン」の策定にあたりまして、格別のご尽力を賜りました大川市都市計画マスタープラン策定委員会の皆様をはじめ、アンケート調査やまちづくり懇話会などを通じて貴重なご意見、ご提案をいただきました市民の皆様、関係者各位に心より感謝申し上げます。

平成29年7月

大川市長 倉重良一